

令和8年度 第66回徳島県高等学校総合体育大会に関する連絡事項

令和8年6月5日（金）～6月8日（月）に開催される上記大会へ参加される選手及び監督・アドバイザーは以下の点について事前周知をお願いします。

1. 競技日程

- 6月 5日（金）… 学校対抗1回戦～決勝まで（3位決定戦も行う）
※開会式は9：30より行う
- 6月 6日（土）… 男女ダブルス1回戦～ベスト4決勝リーグ
※開始式は9：00より行う
- 6月 7日（日）… 男女シングルス1回戦～ベスト8決定戦
※開始式は9：00より行う
- 6月 8日（月）… 男女シングルスベスト8決勝リーグ
※競技上の注意を9：00より行う

2. 連絡事項

① 開会（開始）式・閉会式について

開会式は、初日の練習終了後に実施します。閉会式及び表彰式については、最終日の競技終了後に表彰を行います。

② 使用球については、ニッタクプレミアムボールを使用します。〔クリーン球ではありません〕

③ タイムアウトについて

タイムアウトについては以下の通りです。

- 6月5日（金）〈学校対抗〉…決勝のみ（3位決定戦は適用しない）
6月6日（土）〈男女ダブルス〉…ベスト4決勝リーグ戦のみ
6月7日（日）・8日（月）〈男女シングルス〉…ベスト8決勝リーグ戦のみ

④ 競技エリアへの入場について

競技エリアへの入場は各校の監督（顧問・引率者・外部指導者・外部指導員）及び選手に限らせていただきます。監督の方が競技エリアに入る場合はゼッケンを渡した際に配布した日本卓球協会の役職者章（2026年度）をつけてください。

③ 動画・写真撮影について（次ページからの資料参照）

- ・会場内での写真撮影はフラッシュ厳禁です。
- ・学校指定の写真館の方などが撮影に来られる場合は、本部席で受付をした上で撮影していただきます。また、撮影は観覧席からの撮影に限らせていただきます。
- ・各校写真部などの生徒について（新聞写真コンクールの作品撮影のため）、受付については写真館などと同様です。撮影は観覧席からの撮影に限らせていただきます。
- ・報道機関が取材のために会場に入ります。所属校の選手で撮影を控える必要のある生徒がいましたら、大会前日までに下記連絡先までご連絡ください。

3. その他

- ① 着衣する衣類（ユニフォーム・ジャージ等）は、白を基調としたものは控えてください。（プレー中にボールが見えにくくなる原因となります。）
- ② 会場準備の担当校の入場は8：15、それ以外の学校は、体育館は8：30です。
- ③ 6月5日（金）〔大会初日〕の駐車場開門は8：00です。毎年体育館前の道路が渋滞し、近隣への迷惑となっています。安全上の問題もあるため、あまり早く会場到着しないようにしてください。
- ④ 各校で熱中症対策を徹底してください（次ページからの資料参照）

徳島県高等学校体育連盟卓球専門部
専門委員長 岡本 英二
TEL 088-623-0461
Mail okamoto_eiji_1@mt.tokushima-ec.ed.jp

撮影等禁止 行為について



① 競技会場内での撮影・録画および録音は禁止です

例外1) 徳島県高等学校体育連盟から撮影許可を得ている場合

例外2) 個人的な利用が目的で、さらに下記②に該当しない場合
※例外2の場合でも、肖像権・著作権を侵害しないよう注意しましょう。

② 会場内の音声・映像の全部または一部をインターネットその他メディアを通じて配信することは禁止です



徳島県高等学校体育連盟

アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ・大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを促します。
- ・研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ・SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ・盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ・SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ・匿名による投稿であっても、法的手続きにより、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

基本的な感染対策

感染症は、ウイルスや細菌等が、体の中に入り、症状が出る病気です。

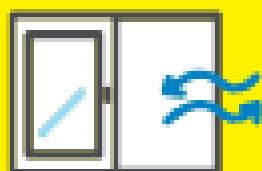
ウイルス等は、換気の悪い場所では室内にとどまっていたり、咳に含まれていたり、

自分の手に付着していることがあります。

感染症危機においても、**①換気** **②マスク着用等の咳エチケット** **③手洗い** **④人混み回避** といった基本的な感染対策は有効です。

自分を守るために、周りの大切な人にうつさないためにも、基本的な感染対策を心がけましょう。

①換気



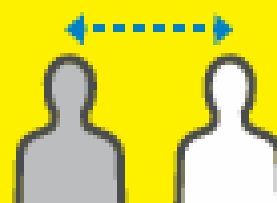
②マスク着用等の咳エチケット



③手洗い



④人混み回避

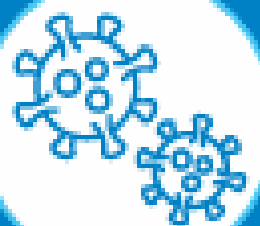


詳細は表紙もご確認ください。

感染症成立の3つの要因

感染症は、I病原体(感染源)、II感染経路、III宿主の3つの要因がそろうことで感染します。

感染対策においては、これらの要因のうちひとつでも取り除くことが重要です。



病原体(感染源)の排除



感染経路の遮断



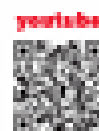
抵抗力の向上

感染症に関する最新情報

厚生労働省などの公式ウェブサイトやSNSにて随時更新します。ぜひご覧ください。



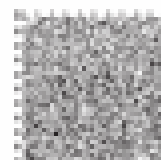
内閣感染症
危機管理統括庁
公式SNS等



情報を音声で
読み上げる機能

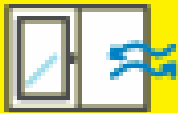


厚生労働省
公式SNS等



感染症危機下において実施が推奨される基本的な感染対策

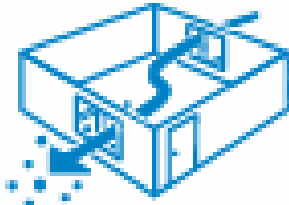
①換気



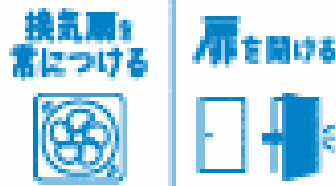
換気によって、空気中のウイルス等を外に追い出すことができます。

必要な換気量が確保されているかを確認する方法としては、二酸化炭素濃度測定器(CO2センサー)の活用等があります。

対角にある窓を2か所以上開ける



窓が1か所しかない場合



空気の通り道を設けることが重要です

②マスク着用等の咳エチケット



咳エチケットによって、ウイルス等を含んでいる飛沫が広がるのを防ぐことができます。

ある程度、飛沫感染等を防ぐことができる不織布(ふしよふ)製マスクがおすすめです。

3つの咳エチケット



正しいマスクの着用



③手洗い



手洗いによって、自分の手に付着したウイルスを減らすことができます。

流水で手を洗えないとき、手洗消毒剤(アルコール等)によるものも有効です。



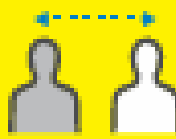
正しい手の洗い方

- ① 手洗いの前に
 - ☑ 石鹸をよく泡立ててください
 - ☑ 肘や手首は洗ってください



指の間や手首も忘れずに。

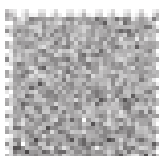
④人混み回避



感染症危機下でも、人混みを避けることによって、感染機会を減らすことができます。

熱や咳嗽、体調不良を感じている人は、人が多く集まる場所に行かないようにしましょう。

特に **高齢者** **基礎疾患のある方** **妊婦** **体調不良の方** は、人混みや集まりへの外出を控えましょう。



感染症の特性や状況の変化に応じた最新の情報や対策については、厚生労働省などの公式ウェブサイトやSNSにて随時更新しますので、ご確認ください。

スポーツ活動における熱中症事故の防止

① 適切な予防措置



- ✓ スポーツ活動中をはじめとして、依然として熱中症による被害が多く発生しています。熱中症は、梅雨明け等の気温が急に上昇したとき、また、合宿初日や休み明け、あるいは低学年（特に新入生）に多くみられます。いずれも、「体が暑さに慣れていない」からです。



【暑熱順化】 気温が高くなり始めたら、暑さに慣れるまでの順化期間を設けましょう。順化期間の最初は運動量を落とし、次第に負荷を高めて行きます。

- 気温が高くなり始める5～6月から開始します
- トレーニング開始から順化の効果が表れるまで5日間を要します
- 服装は汗の蒸発を妨げない服装が好ましいです

- ✓ また、活動の場所や種類にかかわらず、暑さ指数 (WBGT) に基づいて活動中止を判断することも必要です。

- ✓ 「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」（公益財団法人日本スポーツ協会）等を参考として、熱中症事故防止のための適切な措置を講じましょう。



スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック

② 指導者等の責任

- ✓ スポーツによる熱中症死亡事故は適切な予防措置を講ずれば防げるものです。ひとたび事故が起きると人命が失われるだけでなく、指導者はその責任を問われ訴訟になる例もあります。熱中症の予防と、発生したときの応急処置方法を指導者は身につけておきましょう。



【法的責任】 事故が発生した場合、民事責任や刑事責任を、指導者等の個人または法人が問われることとなります。 一般的には民事責任（損害賠償責任）が問われますが、死亡など重大な結果となった場合は刑事責任も問われるケースがあります。

【事例】 A市の少年野球チームの総監督Bは、試合に負けた罰としてC君ら選手に投げ込みやダッシュなどを課した。C君は練習開始3時間後に倒れ、翌日死亡。死因は熱中症。

民事責任について、Bが過失を認めて謝罪、賠償金約5,000万円で和解。刑事責任について、Bは日没後の熱中症は予想できなかった、部員の判断で自由に給水が許されていた等の理由から不起訴処分。

【出典】 スポーツリスクマネジメントの実践 ―スポーツ事故の防止と法的責任―
(公益財団法人日本スポーツ協会)



スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

お問い合わせ：
スポーツ庁健康スポーツ課
電話：03-5253-4111（内線4140）

熱中症



予防行動を とりましょう!



**熱中症警戒アラート
をチェック!**



見守り・声かけ!



**適切に
エアコンを使おう!**



**こまめに
水分・塩分を補給!**



熱中症は誰でも危険! 油断は大敵です!

より詳しい情報は [熱中症予防情報サイト](#) 検索

